

平成21年度 行政評価一覧表

部名	課名	評価対象事業	評価	見直し内容
総務部	収納課	納税貯蓄組合	廃止	制度廃止に向けて各納税貯蓄組合等に周知を図るとともに、現在の加入者に対し口座振替制度への誘導を行うなど、引き続き収納率向上に努めること。平成21年度中に方向性を定めること。 (取組内容) 平成23年度から制度を廃止することし、関係条例を廃止
		市税納期前納付報奨金	廃止	制度廃止に向けて市民等への周知を図るとともに、口座振替制度への誘導を行うなど、引き続き収納率向上に努めること。平成21年度中に方向性を定めること。 (取組内容) 平成23年度から制度を廃止することし、関係条例を改正
	保険年金課	納税貯蓄組合	廃止	制度廃止に向けて各納税貯蓄組合等に周知を図るとともに、現在の加入者に対し口座振替制度への誘導を行うなど、引き続き収納率向上に努めること。平成21年度中に方向性を定めること。 (取組内容) 平成23年度から制度を廃止することし、関係条例を廃止
ツーリズム部	文化国際課	姉妹都市との交流事業	縮小	ロトルア市との行政主導の公式訪問団派遣事業については、見直しにより交流間隔を2年に1回の交流とする。(別府市からの訪問は4年に1回)また、他の姉妹都市等との交流についても、民間主導の交流に向けて関係団体と協議を行うこと。 市が進める国際交流のあり方について、留学生支援等も含めて整理を行い、目指すべき基本的な方向性を定めること。また、市民や協力団体等との協力関係を深め、それぞれの役割分担について明確化すること。
	競輪事業課	包括的外部委託制度の導入	継続	包括的外部委託制度に関し、既に導入した他の競輪場の状況を調査研究し、売上高の推移、各経費の削減状況、人員配置の状況など具体的なデータを収集、分析することにより、今後の方向性を定めること。また、再任用職員の実用についても検討すること。
生活環境部	市民課	交通災害共済加入報償金	廃止	今後3年をめどに報償金の廃止に向けて関係者や加入者に周知を図るとともに、引き続き加入促進に向けた取組を行うこと。
	環境課	「べっぴんエコライフひろば」の開催	継続	べっぴんエコライフひろばについては、見直しにより定めた環境問題啓発に関する市民等とのパートナーシップ構築という方向性に沿った事業の展開を図ること。 また、環境行政においては今後多様な施策展開が見込まれることから、市が実施すべき事務事業の精査を行うとともに担い手の育成も視野に入れて取り組むこと。
		キャンドルナイト	縮小	キャンドルナイトについては、地球温暖化防止というテーマをわかりやすく市民に浸透させるイベントであることから、市民や民間団体、企業等の取組の情報を収集し、広く周知を図ること。イベントについては平成21年度中に民間等の主導に移行すること。 (取組内容) 平成21年度から主催事業は廃止とし、ホームページやケーブルテレビを利用してキャンドルナイト実施の呼びかけや情報の提供を行った。
		墓地管理業務	見直し	今後実施すべき事務事業やスケジュールを精査する中で、「市営墓地管理計画」の見直しを行い、効率的な管理運営に向けた体制の確立を目指すこと。
福祉保健部	高齢者福祉課	高齢者緊急通報システム事業	継続	高齢者緊急通報システム事業については、加入や利用の実績を見極め、効率的な制度の運用を図ること。 高齢化率の上昇を視野に入れ、主要施策と位置付ける高齢者の在宅支援策を推進するため、文化・スポーツ活動や社会参加の促進等、他機関等との連携を強化し、高齢者が健康で安心して暮らせる環境づくりに努めること。
教育委員会	生涯学習課	町内公民館長研修	見直し	高齢者の生きがいづくりや世代間の交流など、テーマをもった研修を実施し、研修成果を今後の町内公民館活動に積極的に活かすことができる仕組みづくりを行うこと。
		婦人会館施設管理運営事業	見直し	施設の用途変更も含め、今後の施設利用のあり方について方向性を定め、関係者等との協議を行うこと。また、今後の施設の運営計画の立案については、効率性という視点を重視すること。
	スポーツ健康課	施設管理運営事業(旧ヨット艇庫)	継続	ヨット艇庫に保管する艇の基準等の整備を検討するとともに、周辺との調和を考慮する中でエリアの効果的な活用という視点に立って、関係部署等と調整し方向性を定めること。基準の整備は平成21年度中に行うこと。